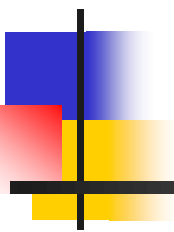


植物検疫措置に関する国際基準 (ISPM) 案



チチュウカイミバエに対する
ネーブル種及びバレンシア・レイト種オレンジの
低温処理

(ISPM No.28 付属書)

対象害虫及び対象品目

- チチュウカイミバエ *Ceratitis capitata*
- オレンジの Navel種及びValencia-late種
Citrus sinensis (L.) Osb. varieties Navel and Valencia-late





処理基準、根拠文献及び関連情報

処理基準： 果実中心温度 2.0°C 以下で16日間

根拠文献： Santaballa *et al.* (1995)、Cerdá *et al.* (1997)

Report of quarantine cold treatment to control *Ceratitis capitata* (Wied) to export oranges to Japan. Universidad Politecnica.

関連情報：

- 提案及び文献には Salustiana種も含まれていたが、TPPTでは文献内のデータから、当該品種は17日間処理が必要と判断
- 3品種に17日間処理の適用も検討したが、原案16日間を尊重
- 処理にあたっては、予冷pre-coolingは必要

参考 ネーブル種、バレンシア・レイト種オレンジ 及び低温処理による我が国の輸入解禁

<ネーブル種、バレンシア・レイト種>

ネーブル: Washington, Cara Cara, Lane Late など

バレンシア: **Varencia-late**, Campbell, Delta, Frost など

<日本の輸入解禁現状>

輸出国	対象植物	処理基準 (果実中心温度と処理日数)	対象ミバエ種
スペイン	ネーブル、バレンシア	1.5℃になった後17日間 2.0℃以下	チチュウカイミバエ
南アフリカ	Wネーブル、バレンシア	-0.6℃以下で12日間	チチュウカイミバエ
アルゼンチン	Wネーブル、バレンシア	1.9℃になった後21日間 2.2℃以下	チチュウカイミバエ
イスラエル	バレンシア	0.5℃以下で14日間又は 1.5℃以下で16日間	チチュウカイミバエ
豪州	Wネーブル、バレンシア	1.0℃以下で16日間又は 2.1℃以下で18日間或いは 3.1℃以下で20日間	チチュウカイミバエ クインスランドミバエ 4